

## 「あなたのキャリアを拓く」看護職のための生涯学習支援講座の 受講者の状況および反応と今後の展望

永井睦子<sup>1)</sup> 西端 泉<sup>1)</sup> 北原和子<sup>1)</sup> 吉村恵美子<sup>2)</sup>

### 要 旨

「あなたのキャリアを拓く」をテーマに本学が取り組んできた看護職のための生涯学習支援講座は、看護職の教育支援において着実に成果を上げていると高い評価を受けている。本研究では、平成23年度後期のPart1から平成26年前期のPart6までの取り組みを概観すること、および平成25～26年度の受講者の状況と反応を明らかにすることで、今後の生涯学習支援講座の企画・運営に活かすとともに、今後の課題や方向性および展望等について検討していくことを目的とした。受講者58名のアンケート結果からは、約90%が「ニーズに合っていた」「新たな知識・技術を習得できた」「今後に生かせる」と答えていることが明らかとなった。今後のテーマへの希望や講座を継続してほしいことなど、本学に対する意見や希望をふまえて、キャリア支援を意識した生涯学習支援講座について検討し、示唆を得ることができた。

キーワード：看護職 生涯学習 キャリア発達 キャリア支援

### I はじめに

本学において平成23年度から取り組んでいる生涯学習支援講座<sup>1)</sup>は、地域に潜在する看護師に再教育・生涯学習の場を提供し、職場復帰に対して重要な役割を果たすとともに、看護職の教育支援においても着実に成果を上げていると、平成25年度の大学基準協会の認証評価<sup>2)</sup>においても高い評価を受けることができた。

「あなたのキャリアを拓く」をテーマに取り組んできた看護職のための生涯学習支援講座は、学長直属の企画運営会議の下部組織として設置された生涯学習支援室が企画・運営を統括し、平成23年度後期のPart1から平成26年前期のPart6まで3年間運営してきている<sup>3) 4)</sup>。受講者も徐々に増え、受講者の意見等も参考にしながら、毎回テーマ・内容等を検討し継続しているところである。

そこで、今回、これまでの看護職のための生涯学習支援講座の取り組みを概観すること、および平成25～26年度の受講者の状況と学びを明らかにすることで、今後の生涯学習支援講座の企画・運営に

活かし、今後の課題や方向性および展望等について検討していくことを目的に研究に取り組むことにした。このような研究は、今後の企画・運営の手立てとなるばかりでなく、今後の看護職の生涯学習のあり方やさらには看護職のキャリア発達やその支援における貴重な資料となり、その意義は大きいと考える。

### II 研究目的

看護職のための生涯学習支援講座のこれまでの取り組みを概観し、受講者のアンケートから、受講者の状況と反応を明らかにすることで、今後の生涯学習支援講座の企画・運営に活かすとともに今後の展望について検討する。

### III 研究方法

平成25年度前期・後期および平成26年度前期の看護職のための生涯学習支援講座を受講した方を対象に実施したアンケートから、受講者の状況と感想・意見を集計し分析する。

#### 1 研究対象

看護職のための生涯学習支援講座の受講者、平成25年前期のべ54名（実人数44名）、平成25年

1) 川崎市立看護短期大学

2) 国際医療福祉大学

後期のべ26名(実人数14名)、平成26年前期のべ22名(実人数18名)、合計のべ102名(実人数76名)を対象とした。

## 2 平成23年度から平成26年度の生涯学習支援講座の取り組み

看護職のための生涯学習支援講座のこれまでの取り組みについては、平成23年度Part1から平成26年度Part7までのAコース・Bコースのテーマおよび受講者数をまとめて示す。

## 3 研究デザイン

質問紙による調査研究

## 4 研究期間

平成26年7月から平成26年10月

## 5 データ収集

各コース最終回に質問紙への記載を依頼する。

調査内容は、受講者の状況として、年齢、性別、住所、所有資格、就労の有無、勤務先の種類、講座開催を何から知ったか、交通手段、本学までの所要時間、受講コース、受講理由など、また、講座内容についてニーズに合っていたか、新たな知識・技術を習得できたか、今後に生かせそうか、今回の講座で良いところ、講座で改善すべきところ、今後取り上げてほしい話題等、受講料・開催日程について、配慮してほしいこと、復職予定の有無、復職(就労)に関する情報の必要性、復職する際に支障になること、本学を何で知ったか、本学に臨むこと、その他・自由意見であり、無記名でA4サイズ用紙1枚裏表である。

## 6 データ分析

各項目の単純集計を行う。記述内容については、

記述されたままの表現を大切にしつつ、意味内容が類似したものを分析・整理し、カテゴリー化する。分析にあたっては、研究者間で検討する。

## 7 倫理的配慮

研究対象者に、研究の目的と意義、個人情報の保護、研究参加への同意は自由意志であり、研究協力の諾否・途中中断によって何ら不利益にならないこと、今後の受講においても何ら影響することがないことを説明する。また、個人が公になることはなく、質問紙から得られた情報については、生涯学習支援講座の運営および本研究においてのみ使用し、質問紙の保管・管理は厳重に行うことも説明する。

記載内容を研究データとして使用することへの協力依頼については、平成26年度の受講者においては講座最終回に文書および口頭で依頼し、平成25年度の受講者についてはすでに記載された内容を研究のデータとして用いることについて、文書を郵送し依頼する。郵送で説明した受講者からの連絡や問い合わせなどは一切なく、了解が得られたものとした。

なお、本研究は川崎市立看護短期大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施している。

## IV 結果

1 看護職のための生涯学習支援講座のこれまでの取り組みについては、平成23年度PART1から平成26年度PART7までのAコース・Bコースのテーマおよび受講者数をまとめて表1に示した。PART1からPART6までの受講者数はのべ199名であった。

なお、各回のプログラムおよび講師については、資料にまとめて示した。

表1 看護職のための生涯学習支援講座テーマおよび受講者数

	Aコース	人数	Bコース	人数
Part 1	平成23年後期 看護とキャリアを語ろう	6	変わっていく看護技術	15
Part 2	平成24年前期 もう一度“病態生理”を学ぶ	20	昔取った杵柄を思い出せ! 楽々医療処置	10
Part 3	平成24年後期 今日のエイジングケア	30	コンピュータと仲良く付き合おう	16
Part 4	平成25年前期 “病態生理”トピックス	21	変わっていく看護、看護技術	33
Part 5	平成25年後期 人との関わりを豊かにするために	14	脳卒中のリハビリテーション	12
Part 6	平成26年前期 高齢者看護の最前線	10	医療・看護の安全	12
Part 7	平成26年後期 プレゼンテーションツールを使いこなそう!!		がん看護の現在と未来	

Part1～6 受講者数のべ199名

## 2 質問紙回収結果

受講者実人数 76 名のうち 58 名から質問紙の回収が得られた。回収率は 76.3%であった。

## 3 受講者の状況

受講者の年齢、性別、住所、所有資格、就労の有無、勤務先の種類、講座開催を何から知ったか、交通手段、本学までの所要時間、受講コース、受講理由は、図 1～9 に示した。

受講者の年齢（図 1）は、20 歳代から 70 歳代であり、40 歳代 20 名（34.5%）、30 歳代 12 名（20.6%）、50 歳代 11 名（19.0%）であった。男性 2 名（3.4%）、女性 56 名（96.6%）であった。

住所（図 2）は、川崎市 31 名（53.4%）、横浜市内 17 名（29.3%）、東京都 3 名、相模原市 1 名、茅ヶ崎市 1 名、埼玉県 1 名であった。

所有資格（複数回答）（図 3）は、看護師 49 名、准看護師 8 名、保健師 1 名、介護支援専門員 1 名、衛生管理者 1 名であった。

現在就労している人は 52 名（89.7%）、就労していない人は 5 名（8.6%）であり、受講期間中に就労を開始した人が 1 名であった。現在就労中の人の勤務先（図 4）は、病院 30 名（51.7%）、福祉施設 11 名（19.0%）、訪問看護 2 名（3.4%）、その他 11 名（19.0%）で、有料老人ホーム、デイサービス、保健センターなどであった。

講座開催を何から知ったか（複数回答）（図 5）については、ちらしから 32 名（55.2%）、本学ホームページ 8 名（13.8%）、川崎市看護協会 5 名（8.6%）、知人から 3 名（5.1%）、市政だより 2 名（3.4%）、川崎市ホームページ 1 名、河川情報掲示板 1 名、その他 7 名（神奈川県看護協会ホームページ、神奈川県ナースセンター、上司からすすめられて、前回の講座に参加していたなど）であった。

本学までの交通手段（図 6）は、徒歩 2 名（3.4%）、自転車 9 名（15.5%）、バス 11 名（19.0%）、電車とバス 34 名（58.6%）、自家用車 3 名（5.2%）であった。また所要時間（図 7）は、10 分以内 5 名（8.6%）、30 分以内 14 名（24.1%）、60 分以内 25 名（43.1%）、90 分以内 12 名（20.7%）、91 分以上 2 名（3.4%）であり、最長は 130 分であった。

受講コース（図 8）は、A・B いずれかの人は 42 名（72.4%）A・B 両方の人は 15 名（25.9%）であった。受講した理由（複数回答）（図 9）は、新たな知識、技術を得るため 47 名（81.0%）、興味があったため

31 名（53.4%）、今の職場に活かすため 30 名（51.7%）、これから就労するため 8 名（13.8%）であった。

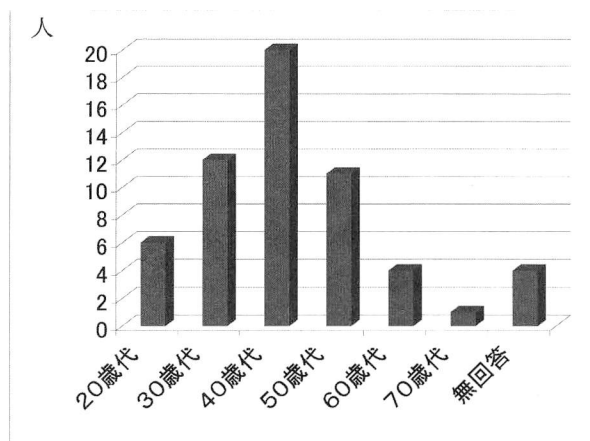


図 1 年齢

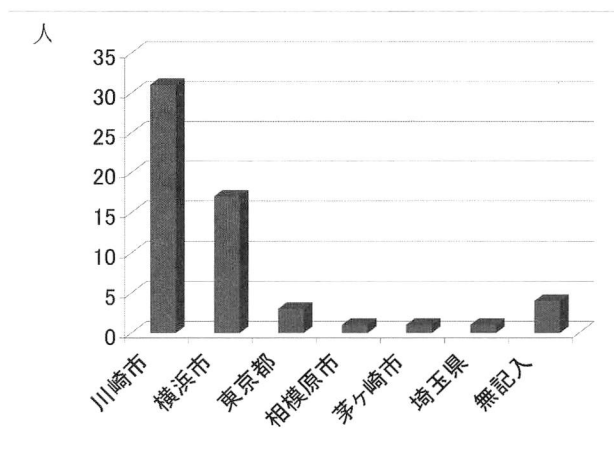


図 2 住所

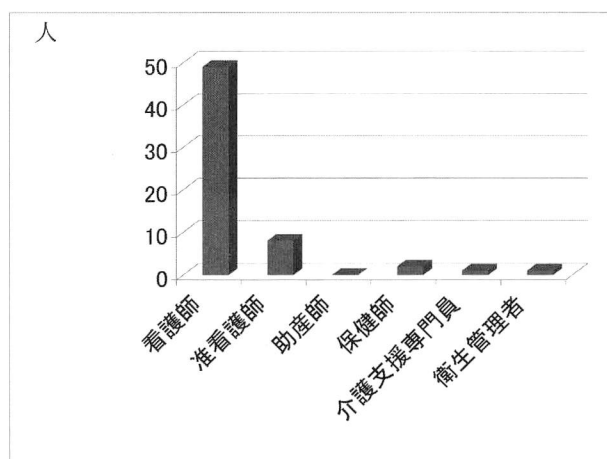


図 3 所有資格（複数回答）

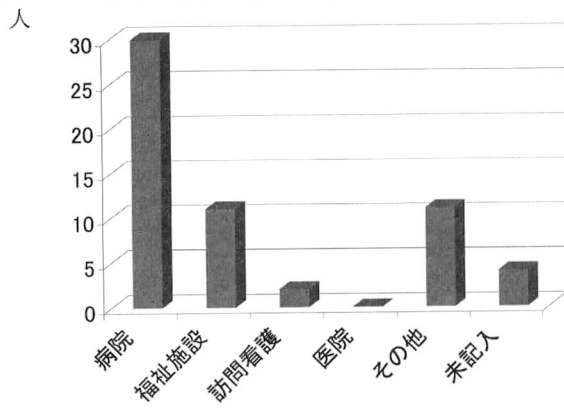


図4 現在就労中の勤務先の種類

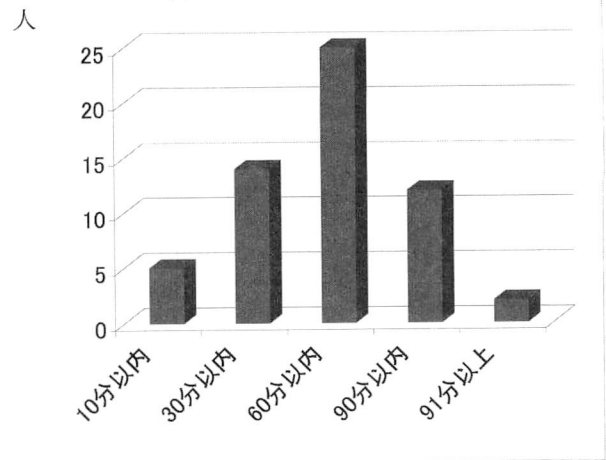


図7 本学までの所要時間

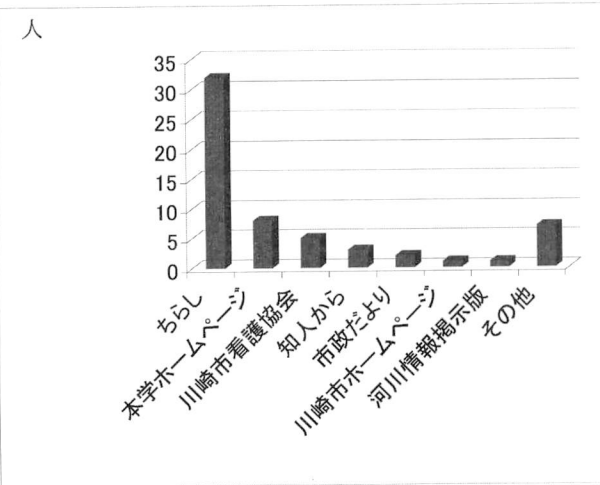


図5 講座開催を何から知ったか (複数回答)

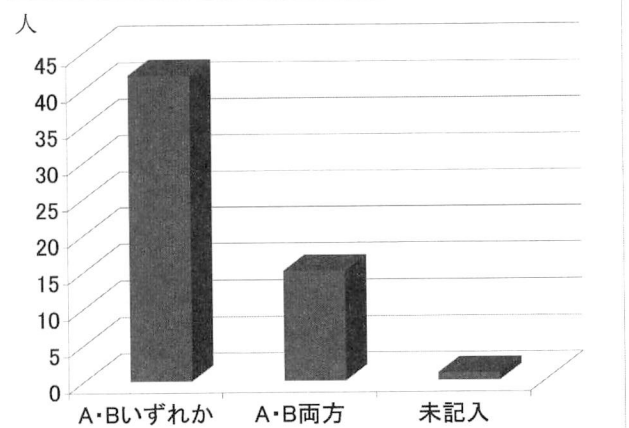


図8 受講したコース

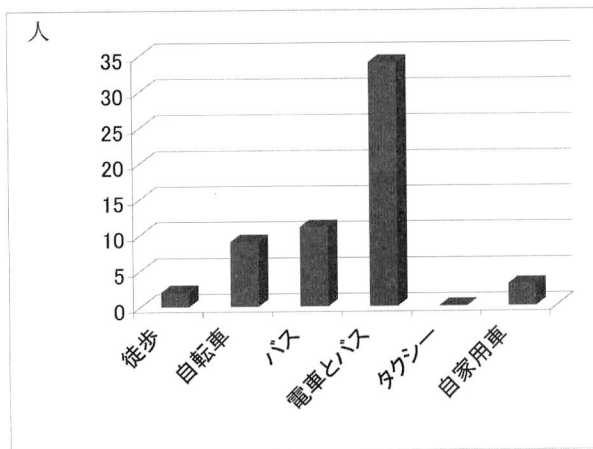


図6 交通手段

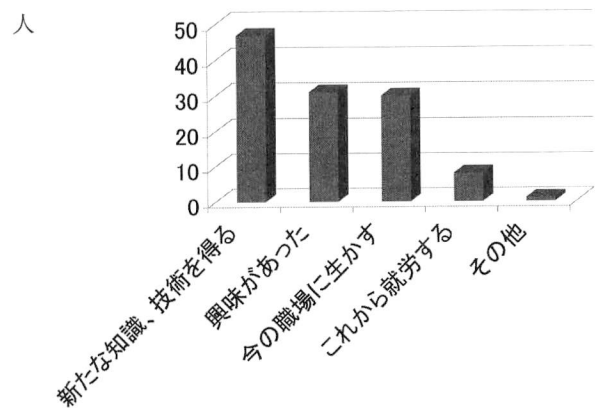


図9 受講理由 (複数回答)

#### 4 講座内容に対する反応

講座内容についての反応については、図10～12に示した。

講座内容はあなたのニーズに合っていましたか(図10)では、大変そう思う16名(27.6%)、そう思う35名(60.3%)、どちらとも言えない3名(5.2%)、そう思わない0名、無回答4名(6.9%)であった。大変そう思う・そう思うの合計は87.9%であった。

新たな知識・技術を習得できましたか(図11)では、大変そう思う21名(36.2%)、そう思う31名(53.4%)、どちらとも言えない3名(5.2%)、そう思わない0名、無回答3名(5.2%)であった。大変そう思う・そう思うの合計は89.6%であった。

今後に生かせそうですか(図12)では、大変そう思う19名(32.8%)、そう思う32名(55.2%)、どちらとも言えない4名(6.9%)、そう思わない0名、無回答3名(5.2%)であった。大変そう思う・そう思うの合計は88.0%であった。

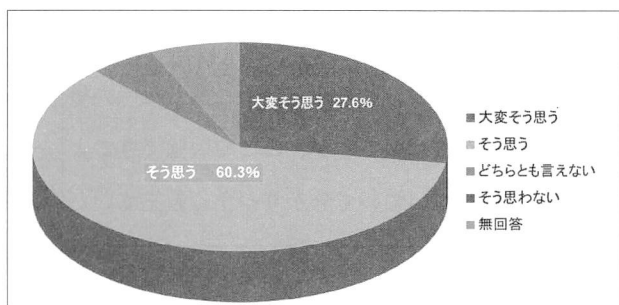


図10 あなたのニーズに合っていましたか

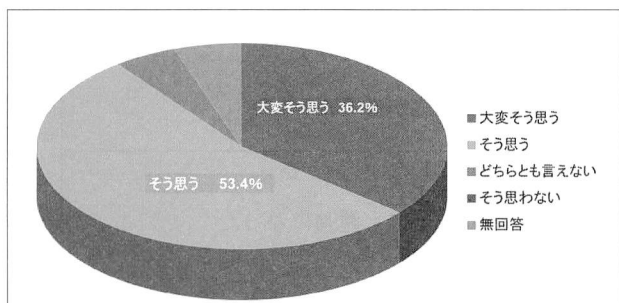


図11 新たな知識、技術を習得できましたか

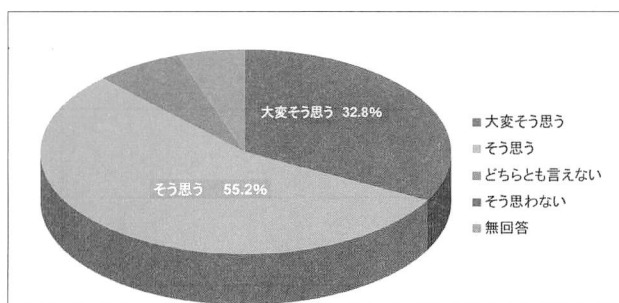


図12 今後に生かせそうですか

#### 5 講座に対する意見など

今回の講座で良いところ、講座で改善すべきところ、今後取り上げてほしい話題等、受講料・開催日程について、配慮してほしいこと、本学を何で知ったか、本学に望むこと、その他・自由意見については、表2～9に示した(以下、『カテゴリー』『内容』、数字は内容の数を示す)。

今回の講座で良いところは、表2に示した。『最新の知識を学べた11』『講義内容からの学びを活かせる10』『実践的な演習があった9』『講師の実践・熱意が伝わった6』『質問・意見交換ができた5』『すべて良かった4』などのカテゴリーに分類・整理できた。

今回の講座で改善すべきところは、表3に示した。『特になし7』『具体・実習を増やす4』『講座の運営3』などのカテゴリーが得られた。また、「配布資料の図や写真はカラーだと、後で見直したときもより分かりやすく見やすいと思う」「もう少し早い段階で受講者同士で話せる場がほしかった」「学びとして生かせる内容もあるのに、利用する人が少ないのが残念です」との意見もあった。

今後取り上げてほしい話題等については、表4に示した。『高齢者看護12』『緩和ケア7』『医療安全5』『病態・治療・処置等5』『在宅看護3』『母性・小児・家族看護2』『コミュニケーション2』『看護計画・記録2』『健康教育2』『看護職2』『新しい医療・看護2』であり、「認定看護師・専門看護師・特定看護師の講義」「過去に実施した内容でも、更新して行ってもよいと思う」という意見もあった。

受講料、開催日程についての意見は、表5に示した。『受講料・日程ともよい11』『土曜日開講はよい9』『受講料はよい6』であり、「受講料はコンビニでも入金できるようにしてもらいたい」という意見もあった。

受講に際して配慮してほしいことは、表6に示した。『特になし4』『講義時間2』『自己紹介する場があるともう少しなじめた』の意見があった。

川崎市立看護短期大学は何で知ったかについては、表7に示した。「今回のちらし5」「近所なので知っていた5」「友人4」「今回知った4」「神奈川県ナースセンター3」「母校3」などであった。

川崎市立看護短期大学に望むことについては、表8に示した。『続けてほしい7』『学習の機会を増やしてほしい6』『情報提供してほしい2』『図書館の

利用2』であり、「今後も外部との交流を広げるとともに、やさしい看護師さんをたくさん育ててください」という意見もあった。

その他・自由意見については、表9に示した。『充実感・感謝13』『企画3』『アクセス2』『日々の業務も忙しいだろうに、勉強もして講義も上手にしっ

かりしてくれる若い看護師さん達に感謝です」「ブランクが長くあると復職をあきらめようと思いましたが、今回の講義や他のセミナーを受けて、9月から時短で働き始めました」という意見もあった。

表2 今回の講座で良いところ

最新の知識を学べた 11	最新の事がわかってよかったです 3 最新の医療現場での様子、治療の考え方を学べた 最新の医療や看護についてアットホームな雰囲気です 現場での最新情報が知れた 最近の医療の知識に基づいて、すぐに実践できる内容であるところが良かった 新しいことを知ったり、不確かな知識を再確認したりする機会になります 知識を確認することができた 長い間就労していない私には最新の知識・技術に興味あるテーマでした。昔とずいぶん概念も変容してきていますね 内容が多岐で、興味を持てる普段接しない内容も多く、とても楽しく勉強になりました
講義内容からの学びを活かせる 10	がんの治療・看護について新たな知識を得られた 最終日「転倒転落の防止」で体の動かし方を学び、ほんの少しでも患者さんの間接を動かしていきたいと思った 在宅におけるリハビリ現状が（時間が足りなかったですが）理解できました 褥瘡のケアや予防について実際のケアにすぐ活かせるような情報が聞けて良かった 褥瘡の現在のケア方法 褥瘡の処置の講座を学んだことがとても活かしている ケアリングな対決について知るのが初めてで、仕事に生活に活かせると思いました ケアリングの対決、傾聴の大切さ、共感・励ましなど、とても重要だと感じた（大事なこととわかっているのに、講座をうけてあらためて思った。でも難しい） コミュニケーションの技術は、独学ではなかなか難しいですが、ここで勉強できてよかったです 普段何気なくしている行動、心理状況等理論に基づいていて分かりやすく教えていただきました
実践的な演習があった 9	フットケアやオムツの当て方などの演習があったこと ケア技術の実践（特にフットケア）がためになりました 演習があったのはよかったです 実際に実習することができたこと 演習をとりいれてもらうことで、理解が深まりました 実技などもあったのでわかりやすかった 急性期及びトランス等実践的でした シミュレーションを実際に行なったりすることで実感がもてた 事例展開
講師の実践・熱意が伝わった 6	講師の熱意が大変強く伝わった。素晴らしい内容でした 毎回、講師の方の熱意ある講義はとても勉強になりました 実際に実践されている講師からの講義だったので、とても勉強になった 現役ナースが講師で、最新のケアの方法を教えてもらえた 認定看護師の講座がよかった 沢山の事例をみてこられている方からお話が聞けたので分かりやすかったです
質問・意見交換ができた 5	少人数で質問がしやすい 2 講義だけでなく事例検討やロールプレイングでき、いろいろな意見が聞けたことがよかったです ワークショップなど、楽しく学ぶことができた グループワークがあったので、効果的に参加できた
すべてよかった 4	全部良かったです 2 全て興味のあるテーマで良かったです ためになる講座でした
	日常とちがう世界にふれた 低額でシリーズで受講できてよかった お茶やコーヒー、菓子類まで用意されていたところ

表3 今回の講座で改善すべきところ

特になし	7	特にありません 6 このままでいいです
具体・実習を増やす	4	できれば実技の時間を増やしてほしいです 実習をもっと増やしてほしい 具体的な事をもっと増やしてほしい 情報では実際のカルテ記入や他の病院の情報管理で工夫していることを知りたい
講座の運営	3	Aコース：開始時間をもう少し早くしてほしい 同じテーマでAコースを基礎でBコースを同日で応用としてほしい 対象者をもっと絞ってほしい。または、分かりやすくしてほしい。そこがわからず戸惑った（これから復職する人か、ある程度キャリアもある人か等）
資料		配布資料の図や写真はカラーだと、後で見直したときもより分かりやすく見やすいと思う
受講者同士話せる場がほしい		もう少し早い段階で受講者同士で話せる場がほしかった。どういう人たちが参加しているのか不安だった
		せまい教室の中でマイクは不要ではないか。大きすぎる音量は耳障りです
		講師の方の雑談が多いと思った
		学びとして生かせる内容もあるのに、利用する人が少ないのが残念です

表4 今後とりあげて欲しい話題等（複数回答）

高齢者看護	12	認知症 認知症予防 4 高齢者へのリハビリ 2 口腔ケア 2 嚥下障害の看護 感染症予防 是非また褥瘡について深く学びたい 同じような高齢者看護の最前線	在宅看護	3	在宅での終末期ケア、在宅での呼吸器ケア 在宅でのストマ、胃ろうのケアと管理方法 地域看護（訪問看護）
			母性・小児・家族看護	2	母性・小児（障害のある児）看護等についても勉強できる機会があるとうれしい 家族ケア
緩和ケア	7	緩和ケア（病院、施設、在宅での） 3 看取りの実践について 疼痛コントロール 化学療法、化学療法受けている方の看護について リンパ浮腫のケア	コミュニケーション	2	コミュニケーション関係は続けていただきたいです アサーティブコミュニケーション
			看護計画・記録	2	看護介入・看護計画の取り組み方など フォーカスチャートの記録の仕方
医療安全	5	医療安全 安全管理対策 医療安全については今後も取り上げてほしい 医療安全に5Sもいれてほしい 感染対策について	健康教育	2	健康管理・健康教育に関すること メンタルヘルス
			看護職	2	中堅スタッフとの関わり方 なぜ看護職は離職者がこんなに多いのか知りたい
病態・治療・処置等	5	最新の検査や治療に使う機器 etc... について ドレーン管理（外科・脳外・整形など） 病態生理 フィジカルアセスメント ロコモティブシンドローム	新しい医療・看護	2	今後も新しい看護の技術や知識を教えてください。 なかなか最先端医療の現場を見ることができないので、いろんな動画でもいいので見たい
					認定看護師・専門看護師・特定看護師の講義
					過去に実施した内容でも、更新して行なってもよいと思う

表5 受講料、開催日程についての意見

受講料・日程ともよい	11	<p>良いと思う 5</p> <p>受講料、日程についてはとても満足している</p> <p>日程、料金ともに無理なく通える範囲だったので、とても良かったです</p> <p>受講料、諸費用を含めると、とてもこの参加費用でまかなえる内容ではないことは感じております。でも、自分で費用を支払うことで出席し続けるという自覚もより生まれます。受講料、日程は私にはちょうど良かったです</p> <p>このような至れり尽くせりの講義でこの料金を申し訳ないと思うくらいの充実でしたが、金額的には出席しようという自覚も持続させられ、かつ、参加しやすい料金だと思いました。土曜日で月一回は受講しやすいです</p> <p>受講する身にとってはありがたい料金・日程だと思う</p> <p>両方とも良かったです</p>
土曜日開講はよい	9	<p>土曜日が参加しやすい 2</p> <p>土曜開講だったので、子どもを夫に預けてくれることができました 2</p> <p>土曜日だから受講できました</p> <p>格安でして頂きありがとうございます。土曜日で助かっています</p> <p>土曜日ということもあり(月一日ということも)、参加しやすくてよかったです</p> <p>日程も土曜・連休初日だと受講しやすいと思います</p> <p>日程については第3or4土曜日と決まっていたのでスケジュールが組みやすかったです</p>
受講料はよい	6	<p>良心的な料金で受講でき、ありがとうございました</p> <p>ちょうど良い受講料だと思います</p> <p>受講しやすい金額でありがたかった</p> <p>受講料は妥当だと思います</p> <p>とても安くて有りがたく思います</p> <p>とても安くて、そこが選んだ理由だった</p>
		<p>受講料はコンビニでも入金できるようにしてもらいたい</p>
		<p>全日ではなく、午後か午前のみが参加しやすい</p> <p>開催日複数だったので、日にちがあいてしまい、忘れがちになって申し訳ありません</p> <p>曜日が毎週土曜日だと休みが取りにくい</p> <p>平日でもよかったかも</p>

表6 受講に際して配慮してほしいこと

特になし	4	<p>特にありません 4</p>
講義時間	2	<p>終了時間が30分以上延長したことがあったので、時間通り終了して頂けると助かります。時間は半日だと集中力が持続しやすかったです</p> <p>講義時間を厳守してほしい</p>
		<p>少人数だったので、自己紹介する場があるともう少しなじめた感じがします</p>
		<p>コートなどを着用する時期には、置き場があると良い</p>
		<p>開催前に連絡をしていただけると嬉しいです</p>
		<p>保育</p>



表7 川崎市立看護短期大学は何で知ったか

この講座のちらしで知った	5
近所なので知っていた	5
友人	4
今回知った	4
神奈川県ナースセンター	3
母校	3
市政だより	2
神奈川県看護協会のホームページ	2
新聞	2
同僚のナースからの誘い	2
卒業生が同じ職場にいる	2
ホームページで	1
川崎市看護協会のホームページ	1
看護協会	1
看護情報誌	1
以前より知っていた	1
短大の前身より知っていた	1
在宅実習をうけているので	1
就職する時に存在を知りました	1

## V 考察

### 1 看護職のための生涯学習支援講座の開催状況

本学で開催している看護職のための生涯学習支援講座は、川崎市内医療施設で働く看護職員の学習ニーズ調査<sup>5)</sup>を踏まえて企画・開催されているものである。平成23年度後期のPart1から平成26年前期のPart6までを終了しており、現在Part7のプログラムが進行しているところである。参加者は徐々に増加し、のべ199名が受講した。定員の30名を上回る時もあったが、少人数の時もあった。今後も幅広く広報活動を続け、参加者の増加および確保に努力していく必要がある。毎回のテーマの企画は受講者の意見を参考にして、よりニーズに合ったものを企画していくことが大切だと考える。

### 2 受講者の状況からみた学習ニーズ

受講者は川崎市、横浜市を主に比較的近くから来ている方と1時間以上かけて来ている方がいることがわかった。場所が近く受講しやすいことは大切な条件であり、地域に貢献する意味で講座の開講は重要な意味があるといえるであろう。時間をかけてで

表8 川崎市立看護短期大学に望むこと

続けてほしい	ぜひこのような企画をつづけてください 7 これからもセミナーを続けてほしいです 今後もこのような生涯学習支援のための試みを続けていってほしいです 低料金の受講できることはとてもありがたいです。今後も継続していただきたいと思います これからもこのような講座をお願いします 今後も自己研鑽の場を継続してほしいと思います セミナーの継続を希望します
学習の機会を増やしてほしい	公開講座などあれば何でも参加したい 2 地域での学習の機会を増やしてほしい 6 今後も講習会を一つでも多く開催してください 今後も色々な研修を行ってほしいと思います 現場の看護師の受講できる講座を増やしてほしい
情報提供してほしい	自分の調べ方も少なかったのですが、もっとこのような講座についての情報を知りたい方がいると思います 2 今後も潜在看護師や長いブランク明けから復職した看護師にいろいろな情報提供をしてほしいです
図書館の利用	ふだんも図書館の利用ができるとよい 2 土日の図書館を利用できるようにしてほしい
	このままで良いです 今後も外部との交流を広げるとともに、やさしい看護師さんをたくさん育ててください

表9 その他、自由意見

<p>充実感・感謝</p> <p>13</p>	<p>今回A, Bコースと受講させていただき、本当にありがとうございました。こうやって勉強できる場があり、とてもありがたく思っております</p> <p>とてもためになりました。ありがとうございました</p> <p>とても充実した内容でした。月に一度なので無理なく通えました。Aコースも受講すれば良かったと今更後悔しています。2回目以降からの受講などもできたのでしょうか？ 楽しかったです。ありがとうございました</p> <p>とても貴重な時間を与えられて感謝の気持ちでいっぱいです</p> <p>毎回受講したいと思える企画でした。実習も面白かったし、忘れかけている基本的なこと、色々確認もできました。受講して良かったと思います。このような研修、ありがたいと思います</p> <p>私はこの講座に昨年参加していますが、仕事をする上で自分の自信につながる内容の講義にいつも感謝しています。これからも続けてください</p> <p>第一線での専門的な講師の方々に普段触れるようなことの無い内容や最新の情報を分かりやすく受けられ、またこのような立派な校舎を使わせていただき、とても貴重な時間だと思いつつ出席させていただいておりました。まずは、色々な情報に触れる時間をもち、今後のことは考えて生きたいと思っています。ありがとうございました</p> <p>楽しく学ぶ機会を設けていただき、ありがとうございます</p> <p>学校の図書館も利用させていただき感謝しています</p> <p>Part2-5まで続いて参加させていただきました。基本的なことから現在の医療に関する最新情報まで、幅広い内容をたくさん学習できました。Part2に来ていた頃は未就労でしたが、こちらに参加するうち看護への情熱が戻ってきて、再就職しました。自分と同じ立場の方々との出会いもあり、いろいろな意味で感謝しております。ありがとうございました</p> <p>今年度の前期・後期を受けさせていただきましたが、このような贅沢な時間で学ばせていただけたこと、ありがたく思っております。また、来年度、時間が許せばぜひ受講したいです。ありがとうございました</p> <p>今回の学びは日々の業務をただこなすだけではなく、意識的にまた根拠を持って実践できると思います。ありがとうございました</p> <p>シリーズ3回だけど、凝縮された内容で受講してよかった。カウンセリングの勉強をもっとしたい</p>
<p>企画</p> <p>3</p>	<p>日常業務外での企画や運営、毎回大変なことと思います。ありがとうございます</p> <p>名前の漢字が違ってました。そういうところから安全意識が必要ではないだろうか？</p> <p>おやつまで準備していただき、ありがとうございました</p>
<p>アクセス</p> <p>2</p>	<p>横浜方面から来る人向けのアクセスもあるといい</p> <p>紹介の際にわかりやすい地図があるとありがたいです</p>
	<p>日々の業務も忙しいだろうに、勉強もして講義も上手にしっかりとしてくれる若い看護師さん達に感謝です</p>
	<p>結婚出産を機に退職しました。その後子育て中で子を預けられず復職やこのような講義を聴くことができませんでした。ブランクが長くあると復職をあきらめようと思いましたが、今回の講義や他のセミナーを受けて、9月から時短で働き始めました</p>
	<p>夜間サテライトに興味があるが、夜勤要員なので受講できず残念です</p>

も来ている方は、講座のテーマや講義内容を興味深く捉えていることが推察される。

また、受講者は就労している方が9割近くで、その就労先は病院が半数で最も多く、福祉施設、訪問看護、有料老人ホーム、デイサービス、保健センターなどさまざまであることもわかった。就労先の状況によっても学習ニーズが多様であることも推測される。受講した理由は、新たな知識・技術を得るため8割と最も多く、興味・関心の高い新たな知識・技術について学ぶことができ、看護に生かせる内容を常に意識してテーマを企画していくことがニーズ

にあった内容につながると考えられた。

### 3 講座内容に対する反応

「講座内容はあなたのニーズに合っていましたか」、「新たな知識・技術を習得できましたか」、「今後に活かそうですか」では、いずれも大変そう思う・そう思うと答えた方が約9割であったことから、受講者の受講理由やニーズに合致し満足度の高い内容であったといえる。この反応は、今回の講座で良いところとも一致しており、さらには実践的な演習があったこと、講師の実践・熱意が伝わったこと、

質問や意見交換ができたことも大きく影響していると考えられる。

講座の講師を担当していただいた講師の方々は、川崎市内で活躍されているそれぞれの専門の方や、本学の教員および本学で非常勤講師を務めていただいている方に依頼している。特に、看護の専門領域では専門看護師・認定看護師の方々から、近年の動向や最新の知識とその看護に対する熱意も学ぶことができたと思う。また、知識だけではなく実践的な技術を演習を通して体験しながら学ぶことができたことも本講座の良いところといえよう。講師と事前調整し、看護実習室を使用して演習を取り入れた講座も複数回実施することができ講師への感謝も述べられていた。このような実習を取り入れた講座は動きもあり、とても活気があり受講者にも好評であった。さらに、具体的な演習や実習をもっと増やしてほしいという意見もあり、今後の企画に生かしていきたいと考える。また、配布資料や話せる場などについての具体的な意見についても、今後検討し改善していくとともに可能な範囲で運営に取り入れていきたい。

#### 4 今後取り上げてほしいテーマ・内容

今後取り上げてほしい内容としては、『高齢者看護』『緩和ケア』『医療安全』『病態・治療・処置等』『在宅看護』『母性・小児・家族看護』『コミュニケーション』『看護計画・記録』『健康教育』『看護職』『新しい医療・看護』と多岐にわたっているが、やはり『高齢者看護』や『緩和ケア』は社会的な状況からもニーズがある内容である。認定看護師・専門看護師・特定看護師の講義を希望する意見や、過去に実施した内容でも、更新して行ってもよいと思うといった意見もあり、ニーズの高い内容については精選し繰り返して企画していくことも必要であると考えられる。

#### 5 本学に望むこと

生涯学習支援講座の受講料、開催日程については、土曜日開講で受講料（5回5,000円）もよいという意見が多かった。また、講座を『続けてほしい』『学習の機会を増やしてほしい』『情報提供してほしい』『図書室の利用』も広げてほしいという意見があった。さらに、「今後も外部との交流を広げるとともに、やさしい看護師さんをたくさん育ててください」という意見もあり、本学の役割として、看護師養成の基礎教育と看護職の生涯学習の両方を求められてい

ることを実感した。本学について知った経緯は「らし」「近所」「友人」や看護協会・ナースセンターなどが多かったが、「母校3」もあり、本学の卒業生が受講していることは非常にうれしいことであった。基礎教育の期間だけでなく、継続教育の場として本学を訪れる機会を作っていくことも重要なことだと考える。

質問紙の最後のその他・自由意見には、『充実感・感謝』が多く述べられており、生涯学習支援講座が受講者の方々にとって、充実したものであったことがわかる。繰り返し継続して受講される方もおり、学ぶ意欲にもつながる生涯学習の場が提供できたのではないと思われる。今回の講座の途中から復職したという受講者も複数あり、受講が具体的に復職のきっかけになり、就労につながる機会を提供できたことは本講座の意義にもつながるものと考えられる。

また、図書室の利用についての感謝も述べられており、講座以外の日も使用したいという希望も寄せられていた。地域への貢献ということでは今後の検討課題であると考えられる。

毎回の講座では、飲み物などの準備をするなど工夫をおこなっているが、そのような配慮が受講者の交流を促し、ほっとする時間となりこの講座をより充実したものにしていくといえるのではないだろうか。地域に向けての情報発信や看護職さらには市民への生涯学習の場の提供として、本学が取り組んでいる夜間サテライトセミナー<sup>6)</sup>においてもこういった配慮が講座の充実感につながっており、本講座でも同様であるといえるだろう。

#### 6 今後の展望

本学において実施している生涯学習支援講座の状況を、平成25年度前期・後期および平成26年度前期に受講された方からのデータを基に検討してきたが、そのなかから得られた本講座のよいところや本学に望むこととしていただいた意見をふまえ、課題を検討しつつ今後も継続して魅力ある有意義なプログラムにし、広報活動にも努め受講者の参加を促していくことで、生涯学習支援講座の役割を拡大していきたいと考える。

また、「キャリアを拓く」という本講座の大きなテーマにも掲げているキャリア発達<sup>7)</sup>という視点でも考えてみたい。自立した社会人・職業人として生きていくためには、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「意思決定能力」「将来設計能力」が必要と

されているが、本講座では、看護職に必要な最新の知識・技術を提供することや人とかかわることおよびコミュニケーションに関することをテーマとして多く取り上げてきており、最新の情報を提供しそのことを活用する「情報活用能力」や人とかかわる「人間関係形成能力」について取り組んできたといえるであろう。今後は、看護職として自らの将来に向けてさまざまな課題を発見し分析することで課題解決のための選択肢を増やし、解決に向けて柔軟に対応できるような「意思決定能力」「将来設計能力」につながる講座も企画に加えていくことが必要ではないかと考える。社会の動きが激しいなかで、医療・看護にまつわる変化も著しくあらゆることが複雑化・多様化している。目前のこととしっかり向き合い逞しく対応しつつも、看護の本質を見失うことなくしなやかに働くこと・生きることを考え、看護職に向けてのより実りある生涯学習<sup>8) 9)</sup>を創り実践していきたいと考える。

## VIII おわりに

これまでの看護職のための生涯学習支援講座の取り組みを概観し、平成25～26年度の受講者の状況や反応を明らかにすることで、今後の生涯学習支援講座の企画・運営に活かし、今後の課題や方向性および展望等についてまとめ考察した。受講者の方々は皆とても熱心に受講され、また、講師を担当していただいた方々の熱意にもふれることができたこの講座の意義を再認識した思いである。

## 文献

- 1) 吉村恵美子, 大河原敦, 蔵谷範子, 西端泉, 美田誠二. 明日のキャリアのための支援プログラム 川崎市立看護短期大学生涯学習支援講座の取り組み. 看護展望 vol.36, No.9, 2011, p.57-61.
- 2) 大学基準協会. 川崎市立看護短期大学に対する認証評価結果. 2014. 3, 27 p.1, p.6-7.
- 3) 川崎市立看護短期大学企画運営会議編. 平成23年度年報 2013, p.47.
- 4) 川崎市立看護短期大学企画運営会議編. 平成24年度年報 2014, p.42-43.
- 5) 蔵谷範子, 有田清子, 吉村恵美子 ほか. 川崎市内医療施設で働く看護職員の学習ニーズ. 川崎市立看護短期大学紀要. No.13, No.1, 2008, p.63-68.
- 6) 吉村恵美子, 青柳美秀子, 蔵谷範子 ほか. 看護職の生涯学習としての「夜間看護サテライト」看護セミナーの試みと効果. 川崎市立看護短期大学紀要. vol.14, No.1, 2009, p.103-108.
- 7) 岡田正毅. 働く人の心理学 働くこと、キャリアを発達させること、そして生涯発達すること. ナカニシヤ出版, 2013.
- 8) 三輪建二. 生涯学習の理論と実践. 放送大学教育振興会, 2010.
- 9) パトリシア・A・克蘭トン, 入江直子他訳. おとなの学びを拓く. 鳳書房, 1999.

また一方で、生涯学習支援講座の講師を担当していただいた認定看護師の方々からは、自分の所属以外で講義を行うことで、とても学びが多く充実した時間であったと話されることが多い。受講者だけでなく講師を担当していただいた看護職の方々にとってもキャリアを拓く機会になったのではないかと考えられる。こういった視点からも、互いに学びあえ、それぞれの成長につながる生涯学習支援講座の役割を認識していくことも重要であると考えられる。

これらの結果を踏まえ、今後の企画・運営の手立てとして、本学の看護職の生涯学習支援や看護職の生涯発達におけるキャリア支援に活かしていきたいと考える。

## 謝辞

今回の調査研究にあたりご協力いただきました、生涯学習支援講座の受講者の皆様に心より感謝申し上げます。また、生涯学習支援講座の企画・運営にあたり協力をいただいております、本学礎上充事務局長をはじめとする事務局職員の皆さまには深く感謝いたします。とりわけ生涯学習支援担当として講座の運営およびアンケートの集計等におきましては、佐藤弘幸さん、伊藤英樹さんにご協力いただきました。ほんとうにありがとうございました。今後も生涯学習支援講座を継続し、皆様からの意見を活かして講座の企画・運営をしていきたいと考えております。

資料 看護職のための生涯学習支援講座の実施内容

平成 23 年度＜後期＞ ―あなたのキャリアを拓く Part 1―

A コース 看護とキャリアを語ろう (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/1	医療・看護の未来	川崎市看護協会会長：手島好子、学長：美田誠二 他
② 11/12	キャリアの新しい展開	川崎市立看護短期大学：吉村恵美子
③ 12/17	看護過程展開の今	川崎市立看護短期大学：滝島紀子
④ 1/21	医療・看護・倫理	川崎市立看護短期大学：岩倉孝明、青柳美秀子
⑤ 2/18	明日のキャリアのために	川崎市立看護短期大学：吉村恵美子

B コース 変わっていく看護技術 (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/1	看護技術の科学とアート ※オープンセミナー	埼玉医科大学短期大学：玉木ミヨ子
② 11/12	患者を救え	川崎市立川崎病院看護師：四本法子、塚田千代
③ 12/17	患者指導の今	川崎市立井田病院看護師：仁藤紀子
④ 1/21	IT の発達と看護	川崎市立多摩病院副看護部長：佐々木菜名代
⑤ 2/18	安全を守ろう	聖マリアンナ医科大学病院安全管理者：竜トシ子

※講義時間 Aコース 10 時～12 時 30 分 Bコース 13 時 30 分～16 時

平成 24 年度＜前期＞ ―あなたのキャリアを拓く Part 2―

A コース もう一度“病態生理”を学ぶ (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
⑥ 5/19	もう一つの現代病 アレルギー・感染症	川崎市立看護短期大学学長：美田誠二
⑦ 6/23	現代薬剤事情	川崎市立川崎病院薬剤科：早川和宏
⑧ 7/21	高齢者と呼吸器疾患	川崎市立井田病院医師：西尾和三
⑨ 8/18	医療における放射線の正しい知識	川崎市立川崎病院放射線科：引地利昭 ※
⑩ 8/18	救命救急二次医療	川崎市立川崎病院医師：田熊清継 伊藤壮一 ※

※川崎市立川崎病院で実施

B コース 昔取った杵柄を思い出せ！楽々医療処置 (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 5/19	感染対策の基礎	川崎市立川崎病院 感染管理認定看護師：井原正人
② 6/23	感染管理の実際	川崎市立川崎病院 感染管理認定看護師：井原正人、福島貴子
③ 7/21	吸引・酸素療法の実際	川崎市立看護短期大学：池谷千佳、鈴木美恵子
④ 9/15	採血の実際	川崎市立井田病院 救命看護認定看護師：高橋貴子
⑤ 9/15	静注、点滴、輸血の実際	川崎市立看護短期大学：一柳陽子

平成 24 年度 <後期> あなたのキャリアを拓く Part 3 -

A コース 今日のエイジングケア (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/20	嚥下障害に対する支援	川崎市立井田病院 ST: 谷内田綾
② 11/10	口腔ケアの実際	川崎市歯科医師会副会長: 遠藤慶一
③ 11/10	高齢者のフィジカルアセスメント	東太田リハビリ訪問看護ステーション 老人看護専門看護師: 山下由香
④ 1/26	認知症の病態と治療	川崎市立多摩病院医師: 小宮山純 ※
⑤ 2/16	認知症と看護	聖マリアンナ医科大学病院 認知症看護認定看護師: 崎山美香

※川崎市立多摩病院で実施

B コース コンピュータと仲良く付き合おう (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/20	看護と情報	川崎市立看護短期大学: 住本和博
② 12/15	コンピュータを使いこなそう	川崎市立看護短期大学: 住本和博
③ 12/15	インターネットで便利に情報を収集しよう	川崎市立看護短期大学: 住本和博、西端泉
④ 1/26	病院の IT の実際	川崎市立多摩病院看護師長: 木村保美 ※
⑤ 2/16	情報の検索	川崎市立看護短期大学: 岩倉孝明

※川崎市立多摩病院で実施

平成 25 年度 <前期> あなたのキャリアを拓く Part 4 -

A コース “病態生理” トピックス (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
⑪ 5/18	新しいがんの治療	川崎市立井田病院医師: 西 智弘
⑫ 6/15	がんの治療と看護の役割	川崎市立井田病院 がん看護専門看護師: 武見綾子
⑬ 8/24	最新のメンタルヘルスの概要	聖マリアンナ医科大学医師: 伊野美幸
⑭ 8/24	メンタルヘルス問題への対処	聖マリアンナ医科大学医師: 伊野美幸
⑮ 9/21	運動・栄養・代謝と健康指導	川崎市立看護短期大学: 西端 泉

B コース 変わっていく看護、看護技術 (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 5/18	排泄のアセスメントと看護	川崎市立川崎病院 皮膚・排泄ケア認定看護師: 牛込志乃
② 6/15	フットケアの実際	川崎市立井田病院 糖尿病看護認定看護師: 内藤祥子
③ 7/20	褥瘡・皮膚のケア①	川崎市立川崎病院 皮膚・排泄ケア認定看護師: 佐藤江利子
④ 7/20	褥瘡・皮膚のケア②	皮膚・排泄ケア認定看護師: 牛込志乃
⑤ 9/15	災害時のトリアージ	日本看護協会: 久保祐子

平成 25 年度 <後期> あなたのキャリアを拓く Part 5 -

A コース 人との関わりを豊かにするために (9 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
② 10/19	聴くことからはじめよう!!	サンリカ教育研究所: 木村智子
② 11/ 9	伝えることと伝わること	川崎市立看護短期大学非常勤講師: 植垣一彦
③ 12/ 4	ケアリングな対決	川崎市立看護短期大学: 吉村恵美子

B コース 脳卒中のリハビリテーション (9 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/19	脳卒中のリハビリテーションと看護	聖マリアンナ医科大学病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師: 田中慶子
② 11/ 9	脳卒中の理学療法	川崎市立川崎病院理学療法士: 小島 巖, 佐藤英司
③ 12/14	在宅でのリハビリテーションと看護	さいわい訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師: 三橋由香

平成 26 年度 <前期> あなたのキャリアを拓く Part 6 -

A コース 高齢者看護の最前線 (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 5/17	認知症高齢者の理解	川崎市立井田病院 認知症看護認定看護師: 曾我部 雅代
② 6/21	食事への援助	日本医科大学武蔵小杉病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師: 鈴木 仁美
③ 7/19	排泄への援助	川崎市立川崎病院 皮膚・排泄ケア認定看護師: 佐藤 江利子, 牛込 志乃
④ 8/23	褥瘡の予防	川崎市立川崎病院 皮膚・排泄ケア認定看護師: 牛込 志乃, 佐藤 江利子
⑤ 9/27	転倒・転落の防止	川崎市立川崎病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師: 森 亜沙美

B コース 医療・看護の安全 (15 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 5/17	医療・看護の安全 最新情報	川崎市立川崎病院 安全管理者: 武田 玲子
② 6/21	日々の看護に活かす K・Y・T	川崎市立川崎病院 安全管理者: 武田 玲子
③ 7/19	SBAR でわかりやすく伝えよう	聖マリアンナ医科大学病院 安全管理者: 竜 トシ子
④ 8/23	感染予防と安全	川崎市立井田病院 感染管理認定看護師: 井原 正人
⑤ 9/27	情報の安全管理	帝京平成大学: 照屋 健作

平成 26 年度〈後期〉 ―あなたのキャリアを拓く Part 7―

A コース プレゼンテーションツールを使いこなそう!! (9 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/18	プレゼンテーションを楽しく!!!	川崎市立看護短期大学：高柳 良太
② 11/ 8	パワーポイントの基本操作	川崎市立看護短期大学：高柳 良太
③ 12/13	プレゼンテーションに挑戦!!	川崎市立看護短期大学：高柳 良太

B コース がん看護の現在と未来 (9 時間)

月日	テーマ	講師 (敬称略)
① 10/18	がん看護の発展	川崎市立井田病院 がん看護専門看護師：武見 綾子
② 11/ 8	最新のがん化学療法	川崎市立井田病院 がん化学療法看護認定看護師：三好 しのぶ
③ 12/13	緩和ケアの現在と未来	川崎市立井田病院 緩和ケア認定看護師：鈴木 果里奈